

# ドラム缶 (焼き芋) 講習会



公園の中で、落ち葉を使って薪で焼き芋をやってみたい！でも、いろいろ公園にはルールがあります。ドラム缶を使うのも理由があります。

## ドラム缶かまどを使う前に

公園で火を使うことは基本的に禁止ですが、公園愛護会や地元町内会等が活動の一環として行う場合は許可をしています。公園を管轄する土木事務所または公園緑地事務所に申請してください。また、事前に最寄りの消防署に火災発生届出書を提出する必要があります。地域の方へイベントの周知も行いましょう。

**！忘れずに行いましょう！**

口行為許可申請 → 各土木事務所等へ

口火災発生届 → 消防署へ

口地域の方へイベントの周知



## 火起こし～後片付けまでの流れ



ドラム缶をセットする 3分



薪を組み、火をつける 7分



枝を足していく 10分～

火が落ち着いたら、アルミで包んだサツマイモを入れる

7分

～イモ30本に対し、30分から40分火を調整しながら焼きます～  
★この間に、灰を埋める用の穴を掘っておくと後の作業がラクになります★

30分～

焼いたものを取り出し、ドラム缶・焼いたものが冷えるのを待つ

30分～

ドラム缶から灰を取り出す

15分～

掘った穴に灰を入れ、土を被せる

10分～



イゲタに組んで火をおこし易くします

炭になった状態の蒔きの上にお芋を乗せて上の部分にもう一度炭を作る作業をします。炭のサンドイッチを作ります



上手く焼けたね！

詳しい手順をみていきましょう！



焼いた炭は、最後に土の中で水を掛けて埋めます。

